

平成29年度(完成)

優 良 業 者 等 表 彰(局長表彰)

- 優良施工工事部門
- ICT活用工事部門
- 安全施工工事部門
- 優良業務部門
- 優秀工事技術者部門
- 優秀業務技術者部門

平成30年 7月

沖縄総合事務局開発建設部

優良業者等表彰一覧(局長表彰)

◆優良施工工事部門

工事件名	業者名	事務所等名	項
● 平成28年度恩納南BP1工区改築工事	(株)丸石建設	北部国道	P 2
● 平成28年度南風原アーチ橋耐震補強(上下P13)工事	(株)鏡原組	南部国道	P 3
● 平成28年度牧港地区舗装工事	琉球開発(株)	南部国道	P 4
● 平成28年度港川地区道路情報表示装置外設置工事	岩崎電気(株)	南部国道	P 5
● 中城湾港土砂処分場護岸築造工事	みらい建設工業(株)・座波建設(株) 特定建設工事共同企業体	那霸港湾・空港	P 6

◆ICT活用工事部門

工事件名	業者名	事務所等名	項
● 平成28年度港川地区改良外工事	(株)大寛組	南部国道	P 8
● 中城湾港(新港地区)航路(-13.0m)浚渫工事	丸尾建設(株)	那霸港湾・空港	P 9

◆安全施工工事部門

工事件名	業者名	事務所等名	項
● 平成28年度北丘高架橋下部工(UDP4)工事	丸尾建設(株)	南部国道	P11
● 那霸空港排水工改良工事(第2次)	株式会社本間組 沖縄営業所	那霸港湾・空港	P12

◆優良業務部門

業務件名	業者名	事務所等名	項
● 平成28年度辺野喜ダム総合点検業務	八千代エンジニアリング(株) 沖縄事務所	ダム統管	P14
● 平成29年度南部国道管内交通安全施策展開検討業務	パシフィックコンサルタンツ(株) 沖縄支社	南部国道	P15
● 平成29年度南部国道改築事業促進等検討業務	(株)千代田コンサルタント 沖縄営業所	南部国道	P16
● 平成29年度南部国道事業評価業務	(株)長大 沖縄支店	南部国道	P17
● 那霸港臨港道路(橋梁)耐震性能評価業務	那霸港臨港道路(橋梁)耐震性能評価業務沿岸技術研究センター・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体	那霸港湾・空港	P18

◆優秀工事技術者部門

工事件名	業者名	技術者名	事務所等名	項
● 平成28年度恩納BP3号橋下部工工事	(株)仲間組	杉本 和司	北部国道	P20
● 平成29年度南部国道管内照明維持工事	マエダ電気工事(株)	松田 健作	南部国道	P20
● 平成28年度港川地区舗装工事	(株)小波津組	棚原 善次	南部国道	P21
● 那霸空港滑走路増設4工区埋立工事	東洋・大成・大寛特定建設工事共同企業体	結城 和也	那霸港湾・空港	P21

◆優秀業務技術者部門

業務件名	業者名	技術者名	事務所等名	項
● 平成29年度南部国道管内交通安全施策展開検討業務	パシフィックコンサルタンツ(株) 沖縄支社	加藤 裕明	南部国道	P23
● 中城湾港地形変化調査検討業務	(株)エコー 沖縄事務所	黒木 敬司	那霸港湾・空港	P23

優良施工工事一覧

優良施工工事の選考基準

- 施工計画、品質、出来形管理等の施工技術が優秀で出来ばえも良く、他の模範となるもの
- 工事施工上の困難性(短期間の工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服し、工事の遂行に努力し、かつ、出来ばえの良好なもの
- 新しい施工技術を導入し、今後の施工技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、出来ばえも良好なもの

工事件名	業者名	事務所等名	項
● 平成28年度恩納南BP1工区改築工事	(株)丸石建設	北部国道	P 2
● 平成28年度南風原アーチ橋耐震補強(上下P13)工事	(株)鏡原組	南部国道	P 3
● 平成28年度牧港地区舗装工事	琉球開発(株)	南部国道	P 4
● 平成28年度港川地区道路情報表示装置外設置工事	岩崎電気(株)	南部国道	P 5
● 中城湾港土砂処分場護岸築造工事	みらい建設工業(株)・座波建設(株) 特定建設工事共同企業体	那覇港湾・空港	P 6

優良施工工事

件名 平成28年度恩納南BP1工区改築工事

会社名 (株)丸石建設



工事説明

本工事は、恩納南バイパス(6.5km)内の恩納村恩納地内における、施工延長(L=235m)を整備し、且つ、現道(一般国道58号)との擦付け工事を行う道路改築工事である。

当該工事の目的は、恩納村内における一般国道58号の交通渋滞の緩和、交通安全確保、観光支援を課題とし、下記事項に留意した。

現道一般国道58号を改築する工事であることから、工事のステップを5段階に分け、ステップ毎に施工範囲を決め、安全性、施工性、交通の切り替えの時期を見極め、片側交互通の規制を最小限に留る計画を立案し実行した。

工事ステップ毎の切り替え規制計画では、ステップ図及びタイムスケジュールを作成し、事前に検討したうえで、作業者全員に周知させた。

一般車両や観光客の配慮として、事前に車線切り替えの予告看板の設置、また、外国人観光客も多いことから、4か国看板(日本語、英語、韓国語、中国語)を設置し、注意喚起を促した。観光バスや路線バスなどには、事前にバス会社へ切り替え時期や仮バス停の位置を調整し、運行の妨げにならないよう配慮した。

様々な工事条件の中、発注者と詳細な検討、対策、調整を密に行いながら、工事期間645日、無事に無事故、無災害で工事を完成することが出来た。

位置図



工事概要

● 事務所名／北部国道事務所	一式
● 工事場所／国頭郡恩納村字恩納地内	一式
● 工事内容／道路土工	一式
地盤改良工	一式
法面工 一式、擁壁工	一式
石・ブロック積(張)工	一式
カルバート工	一式
排水構造物工	一式
構造物撤去工	一式
仮設工 一式、舗装工	一式
縁石工 一式、防護柵工	一式
標識工 一式、植栽維持工	一式
道路付属施設工	一式
道路照明設備工	一式
情報ポックス工	一式
付帯設備工	一式
● 工期／H28.5.10～H30.2.13	
● 契約金額／¥325,080,000	

優良施工工事

件名 平成28年度南風原アーチ橋耐震補強(上下P13)工事

会社名 (株)鏡原組



工事説明

本工事は、国道 506 号の南風原アーチ橋において、地震災害発生時の緊急避難路の確保や橋梁の倒壊や落橋による二次災害の防止を目的とし、安全で円滑な交通を確保するために耐震補強を行うものである。

南風原アーチ橋の景観特徴として、沖縄グスクや伝統的な石造りのアーチ構造に見られる曲線の優美さを連続的に配置した RC 連続アーチ形式となっており、美しいデザインや特徴を継承しつつ、RC 橋脚鋼板巻立て工、橋脚コンクリート巻立て工、炭素繊維シート巻立て工による耐震補強を行った。

橋脚コンクリート巻立て工では、コンクリート打設方法、養生方法、ひび割れ防止対策について新技術(NETS)や創意工夫を取り入れ施工を行った結果、ひび割れの発生も無く、出来栄えの良い、構造物に仕上げることができた。

橋脚高さが 20m 以上の高所作業であり、墜落・落下災害防止が重点対策であった。仮設足場には、次世代足場(IQ システム)を採用したことにより、従来品より、階高さが 1,900mm で 20cm 高いため、腰を屈める事無く、ヘルメットの接触も無く作業が行えたことにより、作業員の体への負担が軽減され作業効率を向上することが出来た。また、手すり高さが通常 150mm より高い 1,010mm と安心感のある足場での施工により、墜落・落下災害も無く完成することができた。

現場職員及び全作業員が常に安全を意識して施工に取り組むことにより、無事故・無災害で竣工することが出来ました。



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／島尻郡南風原町字宮城地内
- 工事内容／工場製作工 一式
工場製品輸送工 一式
橋梁付属物工 一式
橋脚巻立て工 一式
現場塗装工 一式
構造物撤去復旧工 一式
仮設工 一式
- 工期／H29.4.25～H30.2.28
- 契約金額／¥176,677,200

優良施工工事

件名 平成28年度牧港地区舗装工事

会社名 琉球開発(株)



工事説明

本工事は、一般国道58号の交通混雑緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上を目的とする西海岸道路事業のうち浦添北道路(浦添市～宜野湾市)に架かる延長約0.7kmの牧港高架橋の舗装を行う工事である。

工事箇所は橋梁部で県内初のPC・鋼複合橋であった為、鋼とコンクリートでは熱伝導率が異なり、膨張の速度が異なる事から、鋼床版部とPC継ぎ目箇所では通常のアスファルトシート防水ではなく、県内で初施工の伸縮に強い高性能ウレタン防水(HQハイブレン工法)を使用し、基層にも県内初でたわみ追従性の強いアスファルト混合物(改質Ⅲ型WF)を使用し施工を行った。

高性能ウレタン防水の施工時期は冬季で風が強く、防水材を散布する際に既設の構造物に飛散し汚す恐れがあるので、簡易的な飛散防止囲いを使用して施工した結果、構造物への飛散もなく施工できた。

また、道路の供用開始時期が決まっており、高欄設置工事・照明灯設置工事等が混在する現場であった為、連絡協議会にて週1回詳細な工程の打合せを行うと共に、発注者とも月1回工程打合せを行って重複作業が少なくなる様に工程の調整を行った。

以上、様々な工夫を講じる事で、確実な施工を実施し無事故・無災害で工期内に完成することができた。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／沖縄県宜野湾市宇地泊～浦添市牧港地内
- 工事内容／道路土工 一式
- 舗装工 一式
- 防護柵工 一式
- 区画線工 一式
- 道路付属施設工 一式
- 仮設工 一式
- 構造物撤去工 一式
- 工期／H29.3.30～H30.3.30
- 契約金額／¥267,732,000

優良施工工事

件名 平成28年度港川地区道路情報表示装置外設置工事

会社名 岩崎電気(株)



工事説明

本工事は、那覇空港や那覇港、沖縄コンベンションセンターなど主要施設へのアクセス向上や、国道58号の渋滞緩和を目的とした、西海岸道路内、浦添北道路(宜野湾市宇地泊～浦添市港川)の道路状況を伝える道路情報表示装置、宇地泊側(上下線)2基、港川側(上下線)2基を設置する工事であります。

本工事の施工においては、西海岸道路の開通日が決定していた為、施工の遅れが出ないよう工程管理に重視しました。

また、設置箇所が他工事施工範囲内であったため、基礎工事3ヶ所の施工は、材料搬入時期より遅れが生じないよう打合せを頻繁に行い実施し、現道規制が伴う宜野湾バイパスでの施工においては、沖縄コンベンションセンターなど周辺施設との調整を図り渋滞対策に努めました。

情報板の設置においては、運転手からの視認性を良くするため、承諾を得て、「可変式道路表示板設置要領」より、現地にて情報板の直角地点距離を出し角度調整を行った事により、より良い見え方に設置ができました。

設備としては、添北道路関連設備協力会を設置し、設備の遅れが無いよう又、総合試験関係などの打合せを毎月行いました。

それにより工期の遅れも無く、無事故、無災害で施工を完了出来た事に関し、各関連業者及び設備協力会業者の協力に感謝します。

位置図



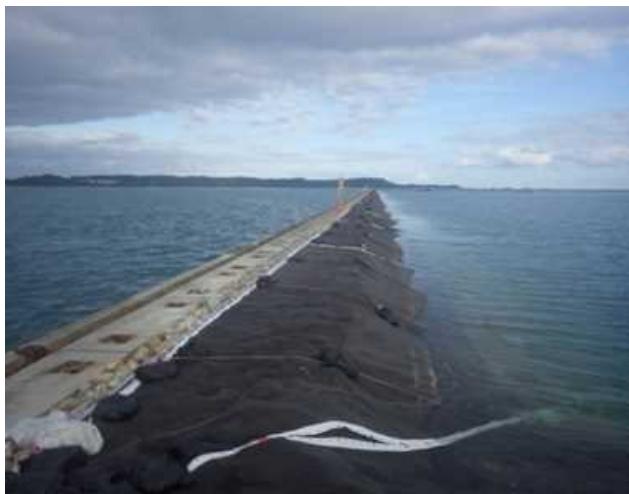
工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／宜野湾市宇地泊地内
浦添市港川地内
- 工事内容／道路情報表示装置設置工 4基
 - 基礎設置工 3ヶ所
 - 防護柵設置工(4m) 3ヶ所
 - 地中配管工 一式
- 工期／H29.4.10～H30.3.20
- 契約金額／¥75,114,000

優良施工工事

件名 中城湾港土砂処分場護岸築造工事

会社名 みらい建設工業(株)・座波建設(株)特定建設工事共同企業体



工事説明

本工事は、中城湾港土砂処分場の護岸築造に伴う、外周護岸の裏込・裏埋工を行うものである。

現場条件としては、周辺海域に、希少生物が生息しており、また、アオサ、モズクの養殖場とも近接しているため、濁り流出・拡散防止に細心の注意を払っての施工が必要であった。また、市街地から処分場へのアクセス道路は交通量が多く、工事車両の影響による渋滞、騒音に十分な配慮を必要とした。

本工事では、防砂シートの破損防止対策として、敷設後の潮流等の影響による応力を分散する防砂シートの固定方法の工夫。また、設計上防砂シートの敷設のない範囲においては、追加したシート上に大型土のうを隙間なく設置して護岸からの越流による裏埋土砂の流出防止を図り、環境対策における漁場関係者からの理解を得ることができた。

裏埋材の運搬では、市街地を通る陸上からの運搬を避け、作業船による海上運搬を計画・実施することで、一般道の渋滞緩和に配慮するとともに、材料の安定供給につなげ、全体工程のフォローアップを実現した。

以上、様々な工夫を講じることで、円滑な工事管理を図り、無事故・無災害で工期内完成を達成した。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／沖縄市泡瀬地先
- 工事内容／

共通工	一式
基礎工	一式
被覆根固工	一式
上部工	一式
裏込・裏埋工	一式
雑工	一式
- 工期／H29.8.25～H30.3.23
- 契約金額／¥519,674,400

ICT 活用工事一覧

ICT 活用工事の選考基準

1. ICT技術を導入した工事施工並びに技術の普及に積極的に取り組み、他の模範となるもの
2. 工事施工上の困難性を克服して工事の遂行に努め、成績が優秀なもの

工事件名	業者名	事務所等名	項目
● 平成28年度港川地区改良外工事	(株)大寛組	南部国道 那覇港湾・空港	P 8
● 中城湾港(新港地区)航路(-13.0m)浚渫工事	丸尾建設(株)		P 9

ICT活用工事

件名 平成28年度港川地区改良外工事

会社名 (株)大寛組



工事説明

本工事は、国道58号及び周辺道路の交通渋滞の緩和と物流機能の向上など基幹道路網の形成を目的に整備されている。

工事は、浦添北道路本線部分及び宜野湾バイパスに係る道路改良工事である。

道路土工において、「情報化施工(ICT 技術)」を活用し、ドローンによる 3 次元測量データによる設計・施工計画、ICT 建設機械により施工することにより施工管理、品質管理について 3 次元データを実施した。

施工が夏場であり、暑さによる作業効率の低下が懸念された。ブルドーザによる MC 敷き均しは特筆すべきものがあり、だれでも再現性をもつて精度よく施工できた。また、GNSS を用いた盛土の締固め管理を活用することにより、不慣れなオペレータでも施工できた。

「情報化施工(ICT 技術)」を活用した現場見学会を開催し ICT 建機のデモンストレーションやドローンの試験フライト等を実施し参加した高校生からは[土木工事は進んでいる]等の意見が出る等建設業の魅力発信についても、積極的に取り組みを行った。7 月の真夏日の開催ではあったが、132 人の参加があった。

新技術を活用することで、品質・出来形とも満足のいく施工を行うことができた。

位置図



工事概要

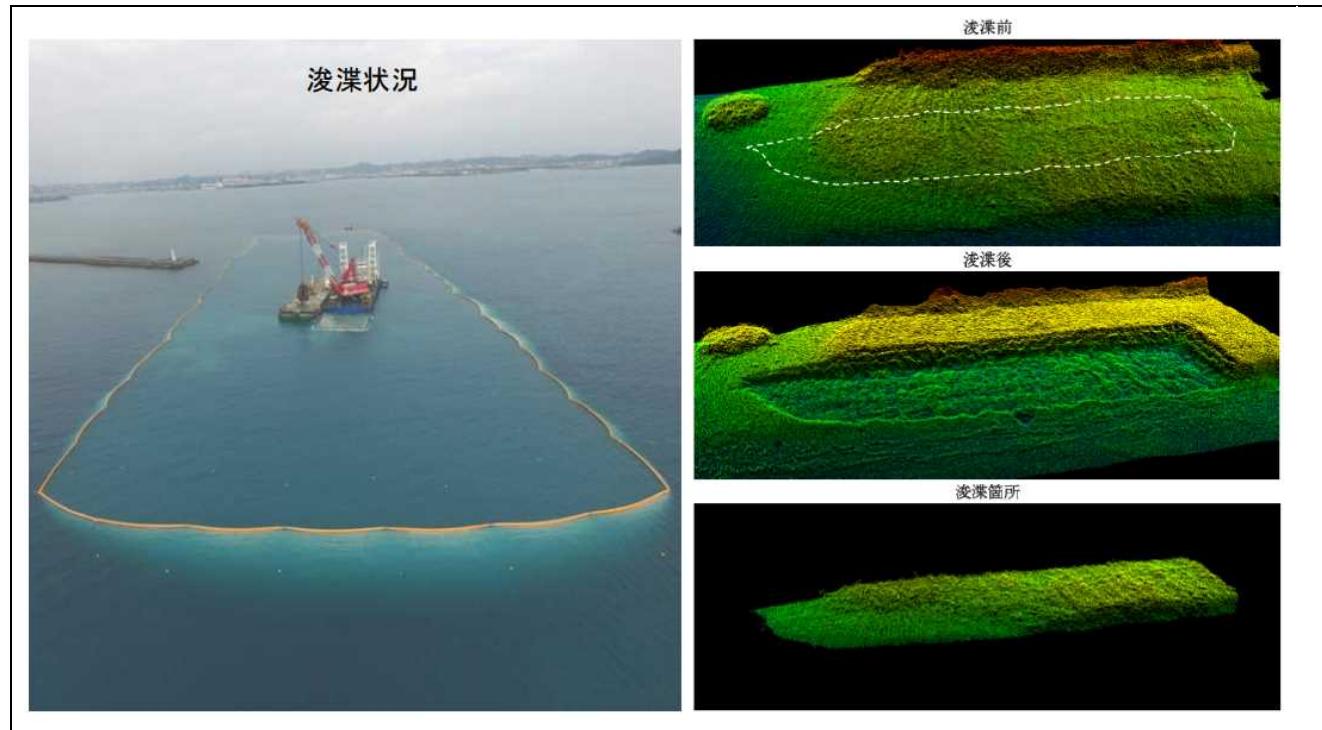
- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／浦添市港川地内・宜野湾市宇地泊地内
- 工事内容／

道路土工	一式
地盤改良工	一式
擁壁工	一式
カルバート工	一式
構造物撤去工	一式
仮設工	一式
舗装工	一式
排水構造物工	一式
下水道施設工	一式
縁石工	一式
情報ボックス工	一式
- 工期／H28.9.28～H30.3.20
- 契約金額／¥770,796,000

ICT活用工事

件名 中城湾港(新港地区)航路(ー13.0m)浚渫工事

会社名 丸尾建設(株)



工事説明

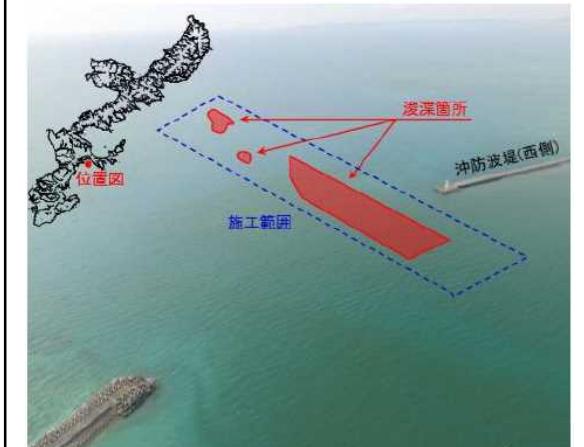
本工事は、中城湾港(新港地区)現況幅 220m、水深-13.0mの新港航路を拡幅する浚渫工事である。

ICT(情報通信技術)活用工事による、「①:3次元起工測量、②:3次元数量計算、③:3次元出来形測量、④:3次元データの納品」の4項目に取組み、最新技術を積極的に活用した。

ICTを活用することで、従来の設計照査とは違い、0.5m平面格子により抽出した点群データから対象海域全体の水平位置と水深を細かく記録することができ、数量計算及び出来形管理の大変な作業負担の低減ができた。また、本工事のように浚渫箇所が点在している海域には、より有効であり、設計照査において拡幅航路箇所に新たな点在箇所が事前に確認できた。目視ができない海底地形の細かな変化を見落とすことなく確認でき、現場打合せも時間短縮に繋がった。

点群データで3次元化することにより目視確認ができ、見える化による施工仕上がり面全体の確認が行えた。出来形、出来栄えともに満足しており、従来の管理箇所の計測や数量計算に手間が省け、港湾工事特有の労働環境の改善が実現できた。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／沖縄市海邦町地先
- 工事内容／共通工 一式
　　潜水探査工 一式
　　浚渫工 一式
　　土捨工 一式
- 工期／H29.10.24 ~ H30.3.20
- 契約金額／¥266,652,000-

安全施工工事一覧

安全施工工事の選考基準

1. 工事の実施にあたり、施工の安全確保に特段の配慮がなされ、かつ工事の成績が優秀であったもの
2. 困難立地条件のなかで、安全確保を図るために積極的に創意工夫がなされ、安全施工に顕著な成績を上げたもの
3. 安全施工に関して顕著な成果を上げ、他の請負業者の模範として、推奨すべき成果をあげたもの

工事件名	業者名	事務所等名	項
● 平成28年度北丘高架橋下部工(UDP4)工事	丸尾建設(株)	南部国道	P11
● 那覇空港排水工改良工事(第2次)	株式会社本間組 沖縄営業所	那覇港湾・空港	P12

安全施工工事

件名 平成28年度北丘高架橋下部工(UDP4)工事

会社名 丸尾建設(株)



工事説明

本工事は、一般国道 329 号の南風原から那覇市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇空港自動車道、那覇東バイパス、与那原バイパス、都計道真地・久茂地線と一体となった幹線道路網の形成を目的とする南風原バイパスの一部として、橋脚下部工(UDP4)を構築する工事である。

本工事箇所は作業スペースが狭く、住宅が密集しており周辺には、保育園、小学校、大型商業施設があり、隣接する町道 22 号線は児童の通学路・地域住民の生活道路とし利用されている場所で交通量が多いため、交通安全、騒音、粉塵などに留意する対策が必要でした。

交通安全対策として工事車両運転手に地域に配慮した安全運転を心がけてもらうようハザードマップを活用し運行ルート、危険なポイントを事前に周知し安全運行指導を行いました。

現場では看板による見える化活動、仮設柵(防音ネット)で現場周辺を囲うことで隣接する住宅への騒音、粉塵の飛散を防止することができました。重機災害防止対策としてバックモニター付き重機の使用と重機後方に接触防止装置を設置しました。また、高所作業があり墜落・転落災害対策として、講師を招いて足場の特別教育を実施し、作業員の安全意識の向上を図り、次世代足場を使用することで広い作業スペースで施工ができ、ストレスが解消されました。作業環境の改善が行えたことで、第三者災害を含め無事故・無災害で工事を完了することができました。

地域への取り組みとしては、北丘自治会へ現場だよりを配布(工事内容、進捗状況等)、地域の行事等への協力、学校の登校時間に横断歩道での旗振り活動などを行い、地域との交流を積極的に実施したことから、自治会、子供会、小学校から「感謝状」を頂き、南風原町役場から交通安全功労者賞を受賞しました。



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／南風原町宮平地内
- 工事内容／道路土工 一式
- RC橋脚 一式
- 仮設工 一式
- 道路改良工 一式
- 工期／H28.9.15～H29.9.29
- 契約金額／¥181,818,000

安全施工工事

件名 那覇空港排水工改良工事(第2次)

会社名 株式会社本間組 沖縄営業所



工事説明

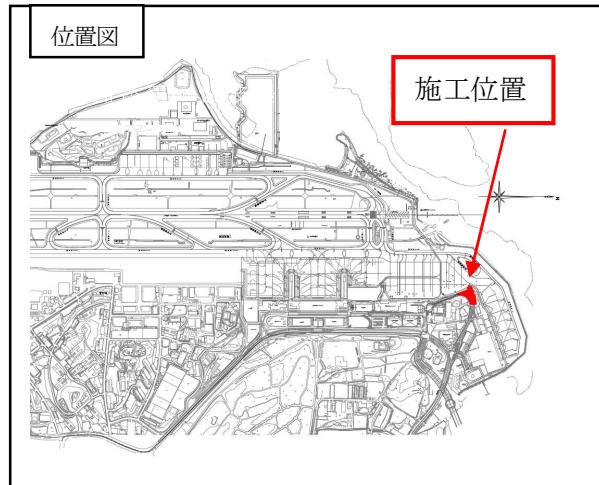
本工事は、沖縄の玄関口として国内外各地を結ぶ拠点空港であるとともに、県内離島と沖縄本島を結ぶハブ空港として重要な役割を果たしている那覇空港において、新設の排水溝を施工後、既設排水溝を切り回す工事である。

本施工箇所は今後エプロン化が計画されている箇所であり、本工事を実施することにより、エプロン化することが可能となる。エプロン化が実施されれば、那覇空港において現在問題となっている、スポット不足解消に大きく寄与するものである。

新設排水溝の構造形式は、ボックスカルバート(現場打ち: 112.73m、プレキャスト: 3.67m)である。

本工事は、制限区域内での作業であり、空港運行管理に重大な影響を及ぼす各種ライフラインの移設を伴うことから、掘削前に簡易レーザー探査機及び試掘により事前に既設埋設物の位置を把握することで、各種ライフラインへの損傷リスクの回避を図った。また、施工区域が狭隘な為、小型の濁水処理施設を設置し他工種における作業の安全性を確保することが出来た。施工区域は、エプロン及びGSE通行帯に囲まれた箇所であったため、飛散防止対策として設置している工事用フェンス(粉塵防止ネット付)の高段化、また掘削法面の薬剤散布による飛砂防止対策を行うなど、飛散防止対策を強化し、供用施設への影響を抑制した。

本工事は関係各位のご協力の下、無事故・無災害で平成30年3月に完了した。



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／那覇市鏡水
- 工事内容／仮設工 一式
- 構造物撤去工 一式
- 空港土工 一式
- カルバート工 一式
- 小型水路工 一式
- 空港舗装工 一式
- ライフライン切替工 一式
- 工期／H28.11.2～H30.3.23
- 契約金額／¥298,080,000

優良業務一覧

優良業務の選考基準

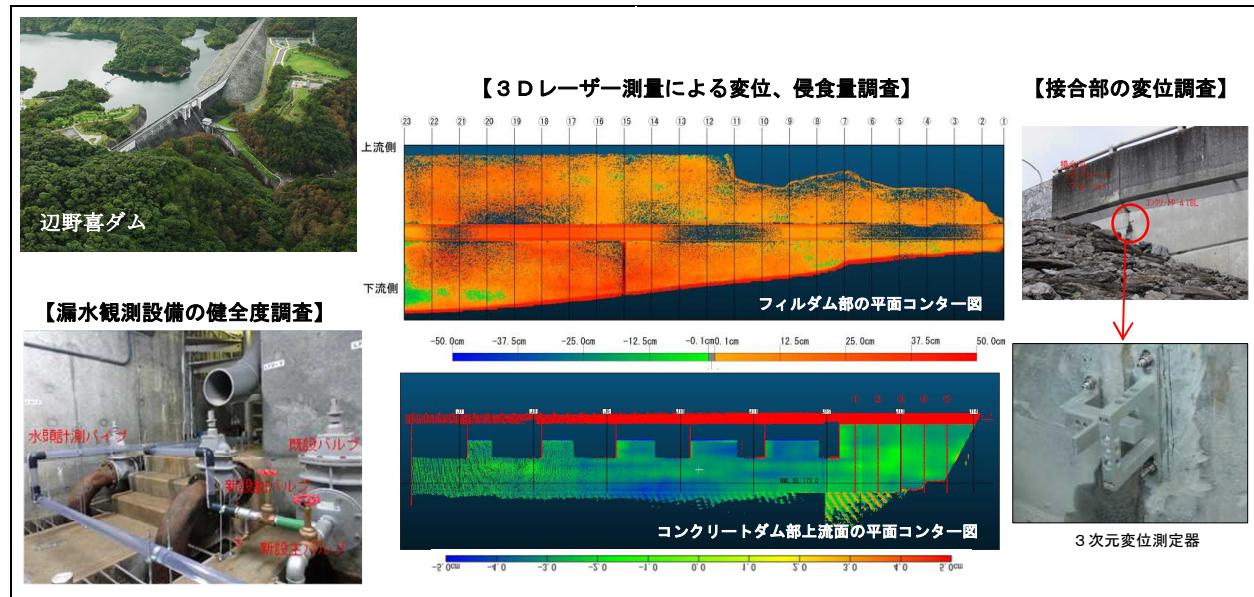
1. 設計計画の立案及び創意工夫等において技術力が優秀で出来ばえも良く、他の業務の模範となるもの
2. 設計計画等に新技術を導入し、今後の設計計画技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、とりまとめ、出来ばえも良好なもの

業務件名	業者名	事務所等名	項
● 平成28年度辺野喜ダム総合点検業務	八千代エンジニヤリング(株) 沖縄事務所	ダム統管	P14
● 平成29年度南部国道管内交通安全施策展開検討業務	パシフィックコンサルタント(株) 沖縄支社	南部国道	P15
● 平成29年度南部国道改築事業促進等検討業務	(株)千代田コンサルタント 沖縄営業所	南部国道	P16
● 平成29年度南部国道事業評価業務	(株)長大 沖縄支店	南部国道	P17
● 那覇港臨港道路(橋梁)耐震性能評価業務	那覇港臨港道路(橋梁)耐震性能評価業務沿岸技術研究センター・オリエンタルコンサルタント設計共同体	那覇港湾・空港	P18

優良業務

件名 平成28年度辺野喜ダム総合点検業務

会社名 ハ千代エンジニアリング(株) 沖縄事務所



業務説明

本業務は、30年程度に1回の頻度で実施するダムの総合点検を行うものであり、辺野喜ダムの長期的な経年変化の状況や構造物内部の状態等に着目して多岐にわたる詳細な調査を行い、ダムの健全度について総合的な評価を行った。

辺野喜ダムは全国でも数少ない、ロックフィルと重力式コンクリートによる複合形式のダムであり、両形式の接合ブロックにおける複雑な堤体挙動を把握することが重要であることから、既往の変位観測に加え、堤体上下流面縦目部に設置した3次元変位測定器や、接合部及びダム全体の3Dレーザースキャナーによる測定の結果を基に適切な健全度評価を行い、堤体の安全性を確認した。

また、ロックフィルダムの漏水観測設備からの土砂流出については、他ダムの事例を基にした管路の健全度確認調査や小型カメラの挿入による内部状況調査等を行い、その結果を「専門家検討会」に諮り、今後の維持管理計画や調査方針を立案した。

各施設の健全度については、総合的に評価を行い、中長期的な維持管理の方針や計画等を定めた「辺野喜ダム長寿命化計画」を策定した。また、収集した資料は今後の維持管理に活用できるようデータベースとしてとりまとめた。

位置図



業務概要

- 事務所名／北部ダム統合管理事務所
- 業務場所／辺野喜ダム
- 業務内容／

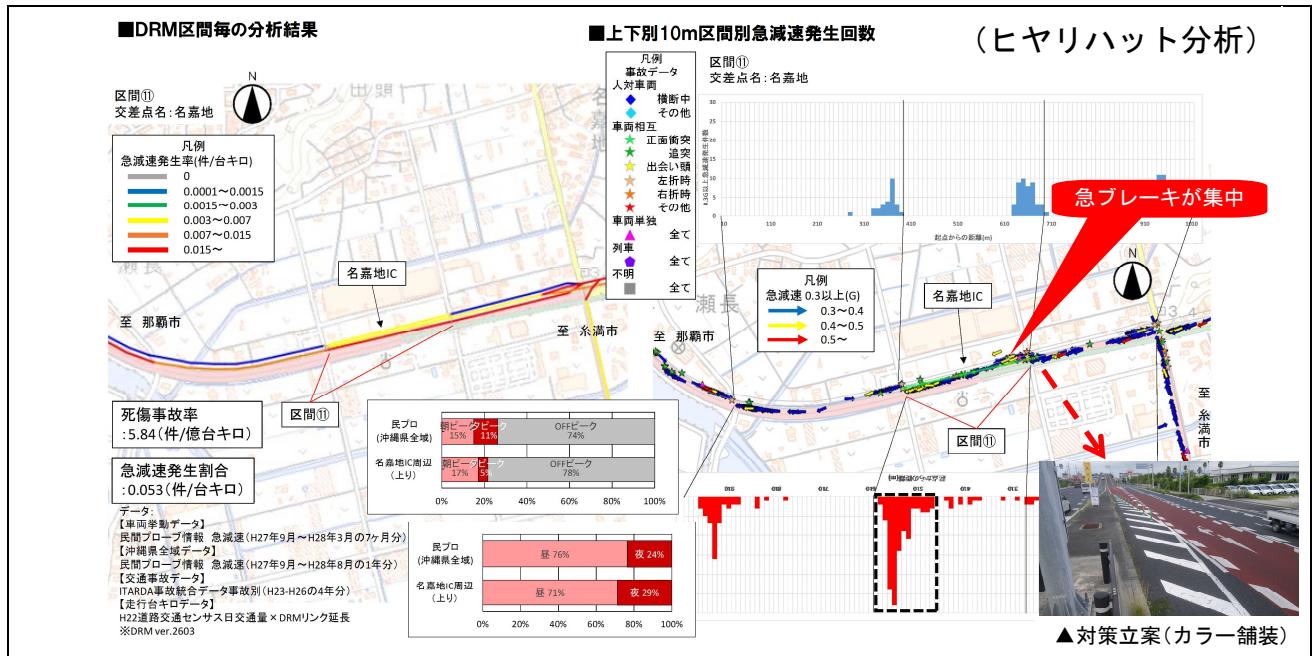
基本調査	一式
追加調査	一式
専門家の意見聴取及び助言	一式
健全度評価、維持管理方針作成	一式
長寿命化計画(案)の作成	一式
定期観測計画の立案	一式

- 工期／H28.8.11～H30.1.31
- 契約金額／¥54,162,000

優良業務

件名 平成29年度南部国道管内交通安全施策展開検討業務

会社名 パシフィックコンサルタント(株) 沖縄支社



業務説明

本業務は、南部国道管内直轄国道において発生している事故の現状等を基に対策案を立案するとともに、これまでに実施した対策の効果を把握した。また、今後の効果的・効率的な交通安全施策の展開を実施していくための具体的な施策展開に向けた検討を行ったものである。

(主な業務内容)

- 事業実施予定箇所における事故データ、プローブデータ、交通挙動調査、ヒアリング調査等の多角的な視点により分析を行い、効果的な対策を立案した。
- 既往対策箇所の効果分析は、物損を含めた事故状況、急挙動、走行速度などの変化を詳細に把握することで対策の効果を見える化した。
- 生活道路対策エリアに関する検討は、対象エリアにおける事故、急減速、抜道交通等の分析を、プローブデータやナンバープレート調査等により行い、自治体等への情報提供資料や、テーブルミーティング資料作成を行った。
- ビッグデータを用いたヒヤリハット分析は、民間プローブデータを活用して、人身事故は少ないものの、急ブレーキが多発している箇所を管内全域から抽出・分析し、予防保全の観点からの対策立案を行った。

業務概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／南部国道事務所管内
- 業務内容／
 - 対策実施予定箇所の事前調査 一式
 - 整備効果調査 一式
 - ナンバープレート調査 一式
 - 環境調査
 - イタルダデータの整理・分析 一式
 - 事業実施予定箇所における課題抽出 及び対策案の立案 一式
 - 交差点概略設計 一式
 - 新規事業化マネジメント 一式
 - 管内交通状況把握資料更新 一式
 - 既往対策箇所の効果分析 一式
 - 生活道路エリアに関する状況分析 一式
 - 協議等資料作成 一式
 - ビッグデータを用いたヒヤリハット分析 一式
 - 環境影響予測評価 一式
 - データ購入 一式

- 工期／H29.4.8～H30.3.30
- 契約金額／¥ 58,546,800 -

優良業務

件名 平成29年度南部国道改築事業促進等検討業務

会社名 (株)千代田コンサルタント 沖縄営業所

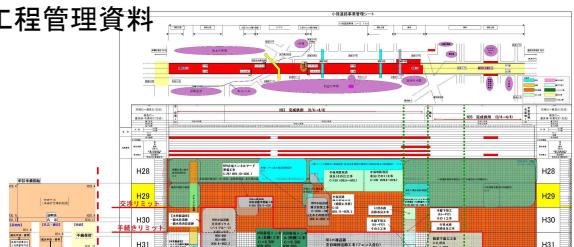
◆案件リスト一覧表

南部国道改築事業											
No.	事業名	事業区分	事業種別								
1	嘉手納バイパス	事業区分	事業種別								
2	北谷拡幅	事業区分	事業種別								
3	小禄道路	事業区分	事業種別								
4	那覇北道路	事業区分	事業種別								
5	浦添北	事業区分	事業種別								
6	南風原バイパス	事業区分	事業種別								
7	与那原バイパス	事業区分	事業種別								
8	豊見城東道路	事業区分	事業種別								

◆個別調整会議資料

南部国道改築事業											
No.	事業名	事業区分	事業種別								
1	嘉手納バイパス	事業区分	事業種別								
2	北谷拡幅	事業区分	事業種別								
3	小禄道路	事業区分	事業種別								
4	那覇北道路	事業区分	事業種別								
5	浦添北	事業区分	事業種別								
6	南風原バイパス	事業区分	事業種別								
7	与那原バイパス	事業区分	事業種別								
8	豊見城東道路	事業区分	事業種別								

◆工程管理資料



◆事業進捗会議



◆個別調整会議



業務説明

本業務は、南部国道管内における改築8事業（嘉手納バイパス、北谷拡幅、小禄道路、那覇北道路、浦添北道路、南風原バイパス、与那原バイパス、豊見城東道路）の事業展開を円滑・迅速に進めていくため、事業進捗に影響する既往資料・設計項目・内容の整合等を整理するとともに、事業進捗に伴い必要となる工程検討を行ったものである。

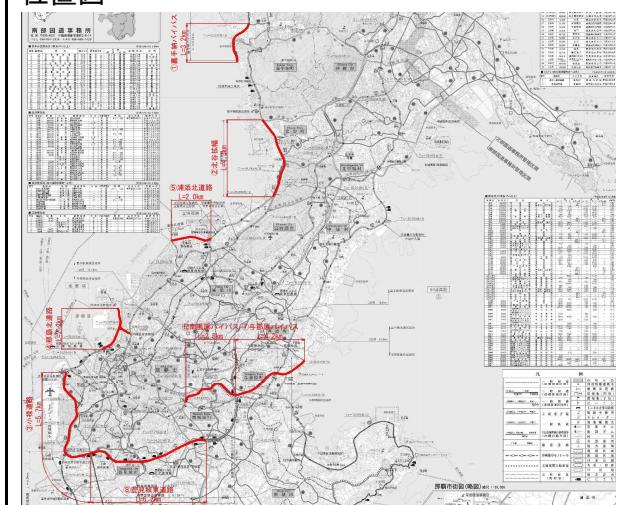
現状の把握、課題・問題点を抽出、問題点に対する対応策の検討を行い、事業進捗に必要となる詳細工程表の更新、工程管理資料の作成を行った。

事業進捗管理として、事務所内の事業進捗会議を運営し、事業促進に支障となっている懸案事項・協議事項について、関係する4課（工務課、用地課、調査課、防災情報課）で情報共有し、クリティカルとなる案件について解決期限を設けて取り組んだ。

事業進捗会議に臨むにあたり、開通が近い事業の個別調整会議や出張所における履行報告会への参加を行い、工事発注予定に対するタイムリミットを設定し、早期確認が必要となる案件に着目することで、各事業進捗の促進を図った。

個別案件として、浦添北道路では開通に関する広報関係資料作成、南風原バイパスでは残土に対するヤード整備設計、施工済み切土法面で発生した変状への対策工提案と詳細設計の実施、また北丘高架橋架設計画を踏まえた本線や側道の開通見通しに資する整理を行った。

位置図



業務概要

- | | |
|----------------------------|----|
| ● 事務所名／南部国道事務所 | 一式 |
| ● 業務場所／南部国道事務所管内 | 一式 |
| ● 業務内容／現地踏査 | 一式 |
| 現状の把握、課題・問題点の抽出と資料更新 | 一式 |
| 問題点に対する対応策の検討 | 一式 |
| 詳細工程表の更新 | 一式 |
| 工程管理資料の更新 | 一式 |
| 個別調整会議への参加 | 一式 |
| 浦添北道路広報関係資料等作成 | 一式 |
| 南風原バイパスのヤード整備設計 | 一式 |
| 南風原バイパスの法面修正設計 | 一式 |
| 北丘高架橋上部工施工計画検討 | 一式 |
| 新川跨道橋上部工修正設計 | 一式 |
| 庁舎関連基礎資料作成 | 一式 |
| 宇地泊電線共同溝に係る基礎資料等作成 | 一式 |
| ● 工期／H29. 4. 18～H30. 3. 30 | |
| ● 契約金額／¥52,056,000 | |

優良業務

件名 平成29年度南部国道事業評価業務

会社名 (株)長大 沖縄支店

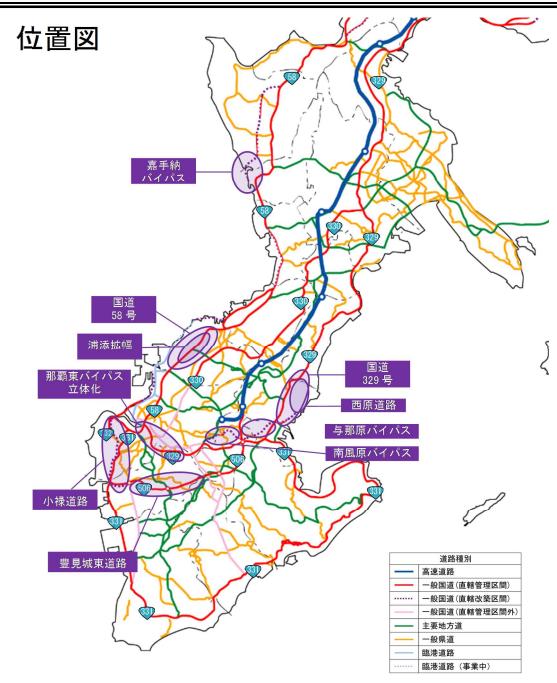


業務説明

本業務は、管内の路線を対象に、事業の進捗状況や周辺地域の現況及び将来動向を踏まえて、将来交通量推計を実施し、各路線の道路整備効果及び事業評価監視委員会資料の作成を行ったものである。

国道58号浦添市区間の8車線化事業である「浦添拡幅」の都市計画変更、新規事業化に向けて、最新の情報や知見・動向に基づきH22センサスベースの将来交通量推計を実施の上、H30年2月に改訂された最新の費用便益分析マニュアルを適用した費用便益分析を行い、B/Cが2.1と事業採択の基準である1.0を超えて、費用対効果の観点から必要性が高い事業であることを示した。さらに、各種データ等を用いて、国道58号当該区間の交通量が非常に多く、全国の主要都市の中でも、旅行速度が著しく低く、業務・観光などの経済活動の妨げとなっていることを客観的に示し、対策の必要性や整備効果が大きい事業であることを明らかにした。その上で、都市計画に関する住民説明会や各種説明資料及び新規事業化に向けた地方小委員会等の資料を作成・とりまとめを行い、同委員会で事業化の承認を得て、H30年度より新規事業化となる等、事業進捗に大きく貢献することができた。

また、嘉手納バイパスを対象に事業再評価に向けた検討や資料作成、沖縄西海岸道路の整備方針等の検討を実施した。



業務概要

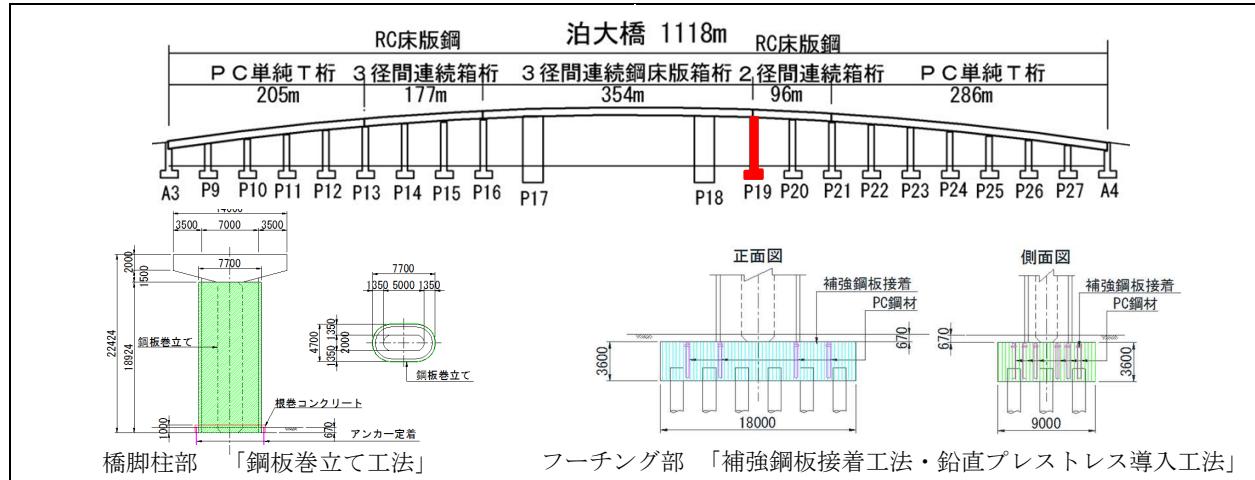
- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／南部国道事務所管内
- 業務内容／将来交通量推計 一式
費用便益分析 一式
事業評価資料の作成 一式
浦添拡幅 必要性検討 一式
説明資料の作成 一式
- 工期／H29.4.12～H30.3.30
- 契約金額／¥42,508,800

優良業務

件名 那覇港臨港道路(橋梁)耐震性能評価業務

会社名 那覇港臨港道路(橋梁)耐震性能評価業務

沿岸技術研究センター・オリエンタルコンサルタント設計共同体



業務説明

本業務は、那覇港臨港道路の一部を構成する「泊大橋」について、P19 橋脚の柱及びフーチングの劣化状況(安全性)の検討を行うと共に劣化(補強)対策工の検討を行い、今後の効率的な維持管理及び劣化対策工事の基礎的な資料として整理するものである。

「泊大橋」の橋脚にアルカリ骨材反応(ASR)による劣化が認められており、コンクリートの圧縮強度及び静弾性係数が低下し、既存の鉄筋に相当程度の残留応力が発生している。偏向顕微鏡観察から、ASR 反応性鉱物が隠微晶質石英であると考えられる。この橋脚の ASR は、今後とも反応が進展する遅延膨張性であり、膨張圧の予測が現時点の技術では困難である。

このことから、学識経験者等から構成される検討委員会を立ち上げ劣化(補強)対策について審議を行った。

とりまとめにあたり①橋脚部の補強設計では、既設コンクリートの強度や静弾性係数の低下や鉄筋の残留応力にバラツキがあるので、複数の設計定数を設定して、地震時保有耐力を算定。

②将来の膨張圧増加等の不確定要因を考慮し、必要補強鉄板厚に対して余裕のある板厚を採用。

③中空橋脚内部の底部にコンクリートを充填し、滯水による ASR の進展を軽減する。また、上部工からの漏水および雨がかりを防止する措置を提案した。委員会運営のほか審議に向けた技術検討、審議結果の整理を行い劣化対策の補強方針をとりまとめた。

位置図



業務概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 業務場所／那覇港泊ふ頭地区
- 業務内容／
 - 劣化状況(安全性)の検討 一式
 - 劣化(補強)対策工の検討 一式
 - 検討委員会 一式
- 工期／H29.2.11～H30.3.23
- 契約金額／¥ 49,086,000

優秀工事技術者一覧

優秀工事技術者の選考基準

1. 工事施工における困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新しい施工技術の導入等の創意工夫
3. 土木工事現場の環境改善によるイメージアップ等への貢献度

工事件名	業者名	技術者名	事務所等名	項目
● 平成28年度恩納BP3号橋下部工工事	(株)仲間組	杉本 和司	北部国道	P20
● 平成29年度南部国道管内照明維持工事	マエダ電気工事(株)	松田 健作	南部国道	P20
● 平成28年度港川地区舗装工事	(株)小波津組	棚原 善次	南部国道	P21
● 那覇空港滑走路増設4工区埋立工事	東洋・大成・大寛特定建設工事共同企業体	結城 和也	那覇港湾・空港	P21

優秀工事技術者



監理技術者
杉本和司

- 工事名: 平成28年度恩納BP3号橋下部工工事
- 事務所名: 北部国道事務所
- 工期: 平成28年10月17日～平成30年3月15日
- 会社名／代表者名: (株)仲間組／仲間 信榮

この度、栄誉ある優秀工事技術者表彰を受賞できましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局開発建設部北部国道事務所の監督職員をはじめ、工事に携わった関係者皆様のご指導とご協力があつての事と深く感謝申し上げます。

本工事は、一般国道58号恩納バイパスのうち、下り3号橋の橋台2基、橋脚1基を築造する工事でした。

施工に関しては、過密配筋となる躯体鉄筋加工組立を機械式鉄筋定着工法の提案・採用し生産性の向上を図りました。又、近隣対策として施工箇所の進入路には、観葉植物や沖縄県の代表的な農産物であるマンゴーを栽培している箇所が近接しているため、当該生産者への事前工事説明やコンクリート打設時の事前説明等をこまめに行い、また、粉塵などで農作物に影響があると思われる箇所には防塵ネットを設置、道路散水を行うことで、苦情もなく無事故・無災害で竣工を迎えることができました。

今回の受賞を励みに、さらなる技術力の向上を目指し、安全・安心で高品質の施工を提供できるように努めて参りたいと思います。



主任技術者
松田健作

- 工事名: 平成29年度南部国道管内照明維持工事
- 事務所名: 南部国道事務所
- 工期: 平成29年4月1日～平成30年3月31日
- 会社名／代表者名: マエダ電気工事(株)／真栄田 一郎

この度、栄誉ある優秀工事技術者の表彰を承りましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局開発建設部 南部国道事務所ならびに与那原維持出張所、嘉手納国道出張所、那覇空港自動車道出張所の各監督職員をはじめ、本工事を一緒に完成させた協力会社及び関係者の方のご協力そして同僚の尽力の賜物であり、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

本工事は南部国道事務所管内(国道58号・329号・330号・331号・332号・506号)における道路照明施設の維持補修、応急点検・夜間巡回、損傷及び老朽化した照明灯の撤去、照明灯設置であります。当該工事の特色として、通年・常時・24時間の応急維持作業態勢(事故処理・台風等)を速やかに図れる事が課題であります。対応として休日・夜間体制表を作成し、緊急用資材・機材・車両を常備することで対応を図る事が出来ました。又、照明灯不点灯による地域住民からの苦情を即日対応する為、資材の常備及び作業員の待機も行いました。

技術者の理念に則り、数々の工夫や対策を行うことで無事故・無災害で工事を完遂することが出来ました。

今回の受賞を励みに、これからも尚一層の技術力・品質の向上に努め、安心・安全で地域の環境に配慮した現場づくりに努め、沖縄のためにこれからも尽力して参ります。

優秀工事技術者



監理技術者
棚原 善次

- 工事名:平成28年度港川地区舗装工事
- 事務所名:南部国道事務所
- 工期:平成29年4月17日～平成30年3月30日
- 会社名／代表者名:(株)小波津組／小波津英正

この度、優秀工事技術者の表彰を受賞できましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これもひとえに沖縄総合事務局開発建設部 南部国道事務所 那覇空港自動車道出張所の監督職員をはじめ、関連隣接工事各業者、近隣住民の皆様からのご指導とご協力があつての事と深く感謝申し上げます。

本工事は、国道58号浦添北道路【港川地区】の橋梁及び土工部における舗装工事でした。浦添北道路は平成30年3月の開通が決まっており工程管理が必務とされた中で、12月末まで橋梁上部が施工、他工事が複数あり現場内が輻輳する状況にありました。また、開通に向けての変更追加などがあり、その中で期間内に工事を完成するため、隣接工区との打合わせを密に行い、また、変更事項の協議を迅速に行うことにより、予定期間内に無事故で工事を完成する事が出来ました。これは出張所所長をはじめ監督職員の迅速な対応によるものと感謝しております。

浦添北道路開通後、私も通勤に利用していますが非常に便利になったと感じています。又、あらゆる人から便利になったと聞こえています。これは施工業者として非常にうれしいことです。

今回の受賞を励みに、これから工事にも今回の経験を反映し努力していきたいと思います。



監理技術者
結城 和也

- 工事名:那覇空港滑走路増設4工区埋立工事
- 事務所名:那覇港湾・空港整備事務所
- 工期:平成28年12月17日～平成30年3月23日
- 会社名:東洋・大成・大寛特定建設工事共同企業体
代表者名:東洋建設(株)九州支店
常務執行役員支店長 木和田 雅也

この度は優秀工事技術者表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。

本工事は那覇空港増設事業に伴う埋立工事で4工区をDL+3.0mまで埋め立てるものでした。

増設事業の一番北側に位置する4工区は、埋立材料の大部分を船舶で海上運搬し供給していました。夏季(7月～10月)は台風の襲来、冬季(11月～3月)は冬季波浪の影響を大きく受け、年間を通して大変厳しい気象・海象条件でした。そのため静穏時には船舶・重機械を昼夜間稼働しての施工や、船舶の特性に合わせた係留・揚土場所の増設等の対処をしました。

また、約157万m³の埋立材料は海砂、岩ズリを使用し、その調達が工程に大きく影響するため、事業全体計画の進捗を考慮して埋立材料の調達を当JVがとりまとめ周辺工区との積極的な調整や、周辺工区へ埋立材料の供給を実施しました。

多くの課題がある中、無事竣工を迎えたのは、ひとえに沖縄総合事務局開発建設部 那覇港湾・空港整備事務所 那覇空港新滑走路整備推進室の監督職員の皆さまのご指導と工事に携わった関係各位のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みにさらなる技術力の向上を目指すとともに沖縄の基盤整備に寄与していきたいと思います。

優秀業務技術者一覧

優秀業務技術者の選考基準

1. 業務履行上の困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新技術の導入等の創意工夫

業務件名	業者名	技術者名	事務所等名	項目
● 平成29年度南部国道管内交通安全施策展開検討業務	パシフィックコンサルタンツ (株) 沖縄支社	加藤 裕明	南部国道	P23
● 中城湾港地形変化調査検討業務	(株)エコー 沖縄事務所	黒木 敬司	那覇港湾・空港	P23

優秀業務技術者



管理技術者
加藤 裕明

- 業務名:平成29年度南部国道管内交通安全施策展開検討業務
- 事務所名:南部国道事務所
- 工期:平成29年4月8日~平成30年3月30日
- 会社名/代表者名:パシフィックコンサルタンツ(株) 沖縄支社
／塘 一成

この度は、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、誠に光栄なことであります。これは、南部国道事務所の方々ならびに関係者の皆様方のご支援、ご指導があつての事と深く感謝申し上げます。

本業務は、南部国道管内で発生している事故の現状等を基に対策の立案、効果把握を行うとともに、交通安全施策展開のための具体的な施策展開に向けた検討を行ったものです。

本業務の主なポイントとしては、南部国道管内における整備優先度検討、対策立案、効果分析などの事故削減やPDCAサイクルの構築に向けた検討、生活道路の事故削減に向けた課題の抽出や自治体への情報提供、直轄国道における予防保全の観点から見た危険箇所の抽出と対策の立案、新規事業化などの施策展開に向けた資料作成等がありました。各分析は、事故データ、プローブデータ(ETC2.0、民間プローブデータ)、交通挙動調査、ヒアリング調査などの多角的視点から行うことで、交通安全事業の実効性のある施策展開に向けた具体的提案を行いました。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術向上と創意工夫に努め、社会資本整備に尽力したいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



管理技術者
黒木 敬司

- 業務名:中城湾港地形変化調査検討業務
- 事務所名:内閣府沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所
- 工期:平成29年4月6日~平成30年3月30日
- 会社名/代表者名:(株)エコー 沖縄事務所／高橋由浩

台風による高波浪が泡瀬地区の砂洲地形に対して与える影響把握に資する目的で、台風通過後に速やかに測量調査が実施され、砂洲地形の安定性評価と埋立地周辺の広い海域での土砂収支にかかる検討を行つまいりました。

砂洲地形は、埋立事業開始当初の位置と規模を維持しているとともに、広域での土砂移動経路のイメージが明らかになり、埋立地の背後(陸側)に大量の土砂が堆積する現象も発生していないことが確認されました。なお、台風後の測量時期は、過去の検討結果を参考にして設定した波高と潮位の閾(しきい)値を参考に、発注者との協議の上で実施の可否を判断することにより、無駄な調査を極力避ける努力を継続しています。また、工程管理や技術提案による品質向上に努め、安全管理を徹底しつつ、業務遂行に努めてまいりました。

この度、栄誉ある優秀業務技術者の受賞させていただき深甚に存じます。業務遂行にあたつての、那覇港湾・空港整備事務所各位に加え、環境監視委員会の皆様の、適切なご指導とご助言の賜物でございます。今後は、最新の技術と豊富な経験により沖縄総合事務局事業の一助となることができれば幸いでございます。皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、謹んでお願ひ申し上げます。